

ロシア軍によるウクライナ原子力発電所等への武力攻撃に強く抗議し、すみやかに武力攻撃を停止することを求めます

2022年3月9日

原発と人権ネットワーク

ロシア軍は、ウクライナ南部ザポロジエにある原子力発電所を攻撃し武力で制圧したと報じられているほか、東部ハリコフの核関連施設、南ウクライナ原子力発電所へも攻撃を行ったとされています。

今回のロシア軍によるウクライナへの武力攻撃は、国際関係において武力による威嚇又は武力の行使を慎まなければならないとした国連憲章に反し、国際法の基本原則に反する侵略行為です。

プーチン大統領は、武力攻撃に先だって、ロシアが核保有国であることに触れ、核兵器使用を想定した軍事演習まで行って、ウクライナ及び周辺諸国を威嚇しました。核による威嚇、まして核兵器の使用は絶対にあってはならない重大な国際法違反であり、非核に向かうべき世界秩序を危うくするものです。原子力発電所や核関連施設が、軍事攻撃によって破壊された場合、放射能の拡散の生じる危険性が極めて高く、施設周辺のみならず多くの人びとの生命、生活の基盤、ふるさとを失わせることとなります。

私たちは、広島、長崎への原爆投下、ビキニ環礁における水爆実験、そして福島原発事故と、核災害を繰り返し経験してきました。私たちは、ロシア政府が、原子力発電所や核関連施設を攻撃したうえ、核兵器の使用もほのめかすなどして、ウクライナへの攻撃を続けることに強く反対します。原子力発電所や核関連施設の破壊がもたらす広範な汚染は、ウクライナのみならず全地球的に広がります。今すぐロシア政府がウクライナへのすべての武力攻撃を停止することを求めます。

以上

原発と人権ネットワーク

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-4 AMビル2・3階 日本民主法律家協会内

<http://genpatu-jinken.net/>